



QRコードを読み取り、令和2年2月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



すわべ たかとし
諏訪部 孝敏 議員
(政経会)

ネット依存の実態と関連事項について

問 スマートフォン、携帯電話を正しく利用する能力を養う教育やルールをつくる必要があると思うが、市の取り組みについて伺う。

部長 市では、インターネット利用における問題点を認識し、正しく利用する能力の育成と、各家庭においてインターネット利用のルールづくりが必要なことを理解していただくことを目的に、富士山まちづくり出前講座で携帯電話、インターネット環境講話を実施している。実施後のアンケートでは、親と相談して良いルールを決めることや、家族みんなでルールを決めて安全に使うことなど、ルール設定の必要性を訴える感想を多数いただいている。

東京2020オリンピック・パラリンピックホストタウンの取り組み状況について



わかばやし しづこ
若林 志津子 議員
(日本共産党議員団)

加齢性難聴の方への補聴器購入補助を要望

問 高齢者の約3割の方が加齢性難聴になると言われていて、難聴になると家族や友人との会話が少なくなり、会合出席や外出の機会が減り、コミュニケーション障害が起こると言われている。厚生労働省も難聴は認知症の危険因子の一つとしている。全国で実施している補聴器購入の補助制度を要望するがいかがか。

部長 加齢性難聴が認知症の危険因子の一つと認識している。今後、補聴器の加齢性難聴に対する有用性が認められるか、または研究の成果が出れば、補聴器購入助成や補聴器を製造する企業に対する支援について、厚生労働省による検討次第では社会保障制度の観点からやらなければならないものと思われ、今後、国の動向を注視したい。

問 ホストタウンとして、富士宮市を挙げて、チームの歓迎等とおもてなしをどのように行っていくのか伺う。

部長 スペイン空手道連盟関係者の市内視察をはじめ、令和元年のスペイン空手チーム事前合宿においても、市と市民の皆様が一体となり歓迎し、おもてなしを行った。さらに多くの市民が出迎えに加わっていただけるものと期待しており、広報誌、ローカル紙、ホームページなどを通じ、市民参加を呼びかけていく。

働き方改革、休み方改革について

問 市職員が積極的に産休や育児休暇を取ることによって、一般企業にも制度が浸透することが期待できると思うが、いかがか伺う。

部長 市では労働基準監督署やハローワークなど関係する機関と連携し、働き方改革について企業への周知を行うとともに、企業の人事担当者等を対象にセミナーを実施するなど、その浸透を図っている。市内の大手企業をはじめ、全ての企業に浸透していくことを期待している。

災害時にファーストミッションボックスの活用を提案する

問 ファーストミッションボックスとは災害時、最初に集まった人たちが迅速に的確な初動対応が行えるよう、やるべき任務を書いた指示書と最低限必要な事務用品を一つの箱にまとめた物。誰が来てもできる仕組みとなっている。

部長 ファーストミッションボックス相当のものは、災害対策を迅速に進めるために必要であると認識している。避難所開設セットは避難所開設を行う職員向けになっているため、誰でも使用しやすいように検討していく。

LGBTの方々に配慮した公的書類改善の取組はどこまで進んだのか

問 公的書類から不必要な性別欄をなくすよう提案したが、その後の取組状況は。

部長 印鑑登録証明書は性別欄をなくした。この間、関係各課と協議してきた。全庁各部署で様式の洗い出しを行い、令和2年度から各部署で修正できるものから順次対応していく。